

平成27年度 第2回長浜市定住自立圏共生ビジョン懇談会

- 日 時 平成28年3月24日(金) 午後4時30分～5時15分
- 場 所 長浜市役所 西館3階 3-B コミュニティルーム
- 出席者 (委 員) 石井座長、川村委員、桐山委員、川越委員、
(事務局) 藤原総合政策部長、元村副参事、柴田主事、s山脇主事
- 欠席者 (委 員) 西村委員、岸本委員、北村委員、手操委員、杉本委員、伊藤委員
- 内 容 以下のとおり

- 1 開会
 - 2 市長あいさつ
- } 省略

3 議 事

- (1) 定住自立圏共生ビジョンの5年間の成果と今後の取組内容について 【資料5,6,7】

○事務局説明(省 略)

(2)

【意見及び質疑等】

■長浜市定住自立圏共生ビジョンの変更について

- | | |
|----------|---|
| 座長 | 東京上野の情報発信拠点の事業費は、地方創生の加速化交付金、一般財源、定住自立圏共生ビジョンによる交付額を含めたものとなるのか。 |
| 事務局 | 定住自立圏共生ビジョンは、全体として約1億円の交付税措置がされるが、特定の事業について交付されるものではなく、計画を策定したことに対して交付されるものである。 |
| 座長
委員 | 長浜市がこの過去5年間で何が一番良くなったか。
政との距離は近くなったように思う。相談がしやすくなった。実際にできること、できないことはあると思うが、できることは柔軟に対応していただけるようになった。 |
| 委員 | 市長をはじめ、各部署や担当に様々なことを聞き入れていただける関係になってきたことについては、県下の他の市町の団体等からうらやましがられることもある。相互の意見を広く聞き入れることで、円滑な関係が構築されてきているように思う。 |
| 委員 | 長浜市は平屋などの公共建築物を長浜市産材で作るという取り決めをしていただいた。市の組合と民間企業と市と三者で作った企業体についても、民間企業にも話が伝わり大きなものとなってきている。
このような取組が他の分野にも応用されれば、地産地消が大きな地域力になっていくのでは。 |

- 座長 市は自伐型林業の育成も進めているが、なかなか進んでいないように思う。そのあたりについてはどのように思われるか。
- 委員 歩いていけるような里山については、自伐型林業は可能である。しかし、林業として成り立たせるためには、大きな面積の山で保育管理しながらやっていかないと難しいように思う。兼業を想定されているものではあるが、土日に行き林業に携わることは、自然保全の面からも良いことではある。
- 座長 専業林業家は何件ほどか。
- 委員 3500 ほどである。そのうち、100ha 超える林業家は 100 人ほどである。
- 委員 この過去 5 年間について、観音文化に関することについては大きく変わったと思う。特に、東京芸術大学での展覧会では、水面下で様々な交渉を行っていただき、多くの観音さまにお出ましいただいた。
- 首都圏の人が感動されている姿を子どもたちに見ていただきたい。そうすれば、地域に対する愛着や誇りが生まれて来ると思う。
- 座長 では、今後 5 年間について長浜市としてどのようなことに取り組みれば良いと思うか。
- 委員 奥琵琶湖の魅力の発信について、今後も継続していただきたい。西浅井町の菅浦のつづら尾崎を出会いの場にしようという働きかけをしていただいている。恋愛などは人間の感情であり、それらに働きかけていくような取組は良いことだと思う。
- 事務局 安産祈願で知られる腹帯観音や、つづら尾崎展望台が今年の 7 月に恋人の聖地となったことから、カップルなどを中心に多くの方に来ていただけるよう市として取り組んでいるところである。
- 委員 また、県道（奥琵琶湖パークウェイ）について、つづら尾崎から菅浦に上がる道路が一本になっているため、塩津側から上がれない状態にある。多くの観光客を呼び込めるよう、アクセスを改善していただきたい。奥琵琶湖の豊かな自然を多くの方に楽しんでもらいたいと思う。
- 委員 今後のまちづくりについては、人口減少への歯止めはすぐにはかけられないことから、本当に必要な最小限のものだけを揃えていく必要がある。交付金で建物が整備できたとしても、維持管理等は市が行っていく必要があることなどをしっかり考える必要がある。
- 委員 地域ブランドを持続的に開発できるような体制作りが必要ではないか。これから 5 年間で特色ある地域ブランドを確立していただきたい。他県にいくときの手土産として市を象徴するようなものを持っていくことができればと思う。
- 座長 東京観音展で来場者の方が感動されるのは、本物の観音様に会えるからだと思う。長浜にしかない資源をうまく活用していくことが大切である。
- 委員 合併により広い市域とはなったが、誰もが長浜市全体のことを知っているという状態が望ましいと思う。広報などでうまく周知していただきたい。他市の方に長浜を紹介できるよう、まずは我々が長浜を深く知る必要がある。

- 4 その他 長浜市定住自立圏共生ビジョン懇談会の 5 年間の任期は今年度で終了となる。これまでお世話になった委員の方々には感謝を申し上げる。

- 5 閉会